

広島県後期高齢者医療広域連合の財政状況の公表

～ 平成30年11月 ～

この「財政状況の公表」は、後期高齢者医療制度の運営にお金がどのように使われているのかといった広域連合の財政状況を、皆さんに知っていただくため、毎年度、5月に下半期分（前年10月1日から3月31日まで）の財政状況と当年度の当初予算を、11月に上半期分（4月1日から9月30日まで）の財政状況と前年度の決算状況を「広島県後期高齢者医療広域連合の財政状況の作成及び公表に関する条例」に基づき公表するものです。

今回は、平成30年度上半期（平成30年4月1日から9月30日まで）の予算の執行や財産の状況と平成29年度の決算状況について公表します。

また、最後に、主要な予算科目の内容について簡単に説明していますので参考にしてください。

平成30年度上半期の財政状況

～予算執行の状況と資産等の概要～

以下で説明する財政状況は、平成30年9月30日現在で記載しています。

1 平成30年度上半期の歳入歳出予算の執行状況

予算執行状況については次のとおりです。

●一般会計の予算執行状況（平成30年9月30日現在）

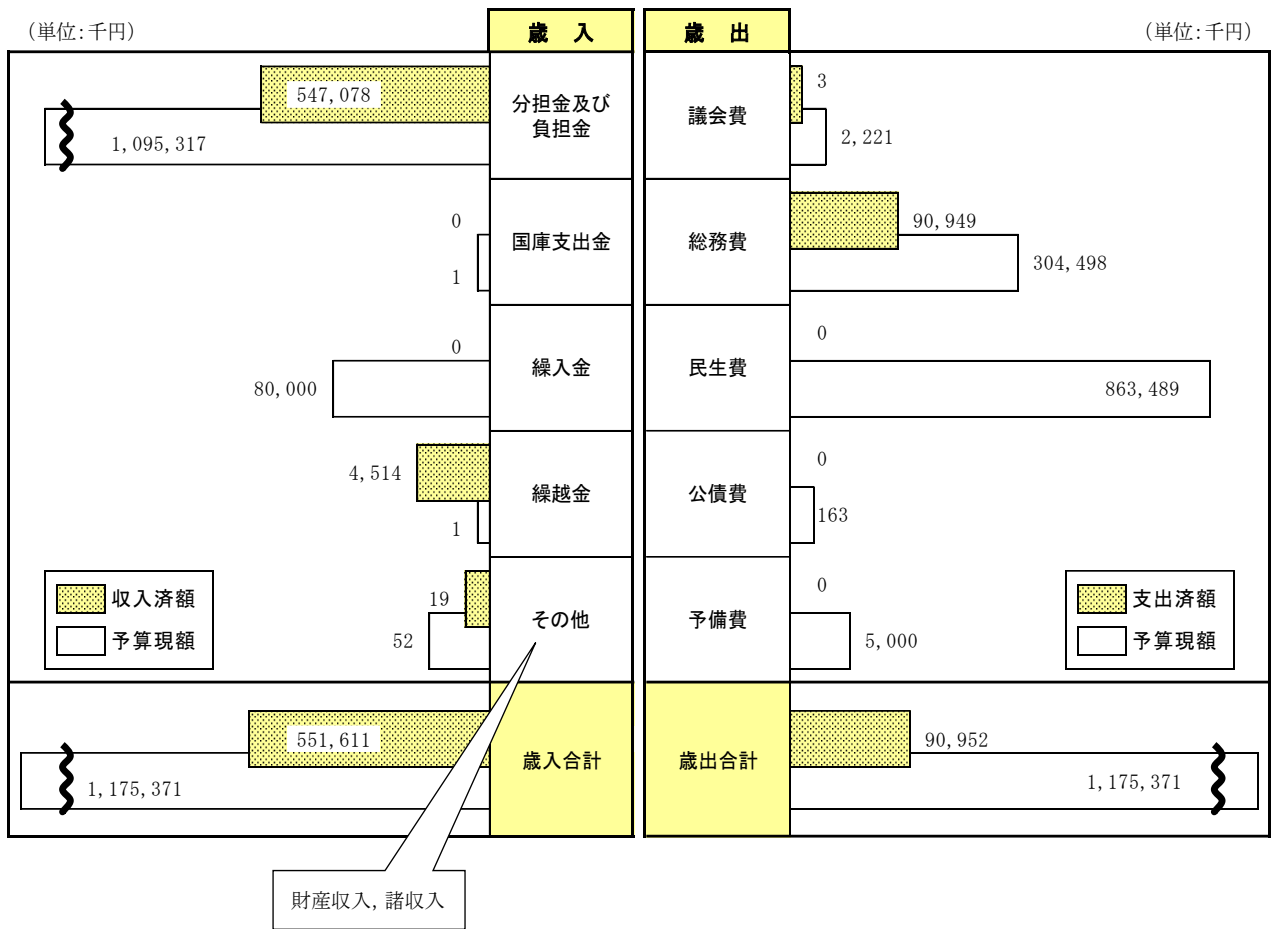
（歳入） （単位：千円）

区 分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)
分担金及び負担金	1,095,317	547,078	49.9%
国庫支出金	1	0	0.0%
財産収入	14	4	28.6%
繰入金	80,000	0	0.0%
繰越金	1	4,514	451,400.0%
諸収入	38	15	39.5%
合 計	1,175,371	551,611	46.9%

（歳出） （単位：千円）

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)
議会費	2,221	3	0.1%
総務費	304,498	90,949	29.9%
民生費	863,489	0	0.0%
公債費	163	0	0.0%
予備費	5,000	0	0.0%
合 計	1,175,371	90,952	7.7%

グラフ「平成30年度一般会計予算の執行状況（平成30年9月30日現在）」



(注)上のグラフには、視覚的にわかりやすくしているため、数値と棒グラフの長さの比が合致しない箇所があります。

●後期高齢者医療特別会計の予算執行状況（平成30年9月30日現在）

（歳入）

（単位：千円）

区 分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)
市町支出金	67,655,787	28,667,920	42.4%
市町保険料等負担金※	(36,218,521)	(12,949,216)	(35.8%)
国庫支出金	132,356,690	79,089,016	59.8%
県支出金	32,963,008	20,958,182	63.6%
支払基金交付金	165,195,796	70,808,540	42.9%
特別高額医療費 共同事業交付金	72,791	0	0.0%
財産収入	623	1	0.2%
繰入金	3,137,826	0	0.0%
繰越金	1	2,763,866	276,386,600.0%
県財政安定化 基金借入金	1	0	0.0%
諸収入	429,820	230,875	53.7%
合 計	401,812,343	202,518,400	50.4%

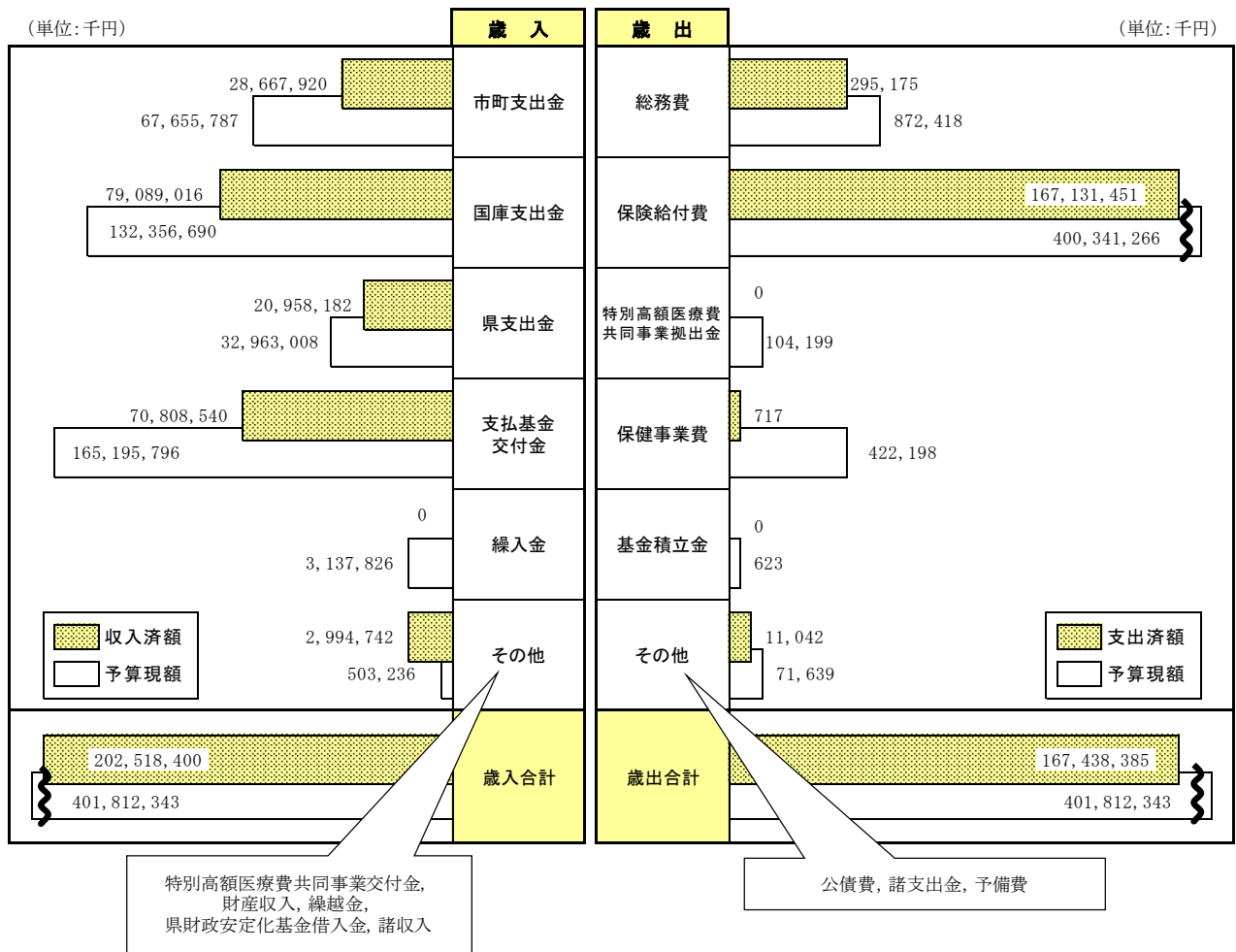
※市町保険料等負担金：市町支出金のうち保険料等についての再掲

（歳出）

（単位：千円）

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)
総務費	872,418	295,175	33.8%
保険給付費	400,341,266	167,131,451	41.7%
特別高額医療費 共同事業拠出金	104,199	0	0.0%
保健事業費	422,198	717	0.2%
基金積立金	623	0	0.0%
公債費	3,247	0	0.0%
諸支出金	43,392	11,042	25.4%
予備費	25,000	0	0.0%
合 計	401,812,343	167,438,385	41.7%

グラフ「平成30年度後期高齢者医療特別会計予算の執行状況（平成30年9月30日現在）」



(注)上のグラフには、視覚的にわかりやすくしているため、数値と棒グラフの長さの比が合致しない箇所があります。

2 広域連合が所有する財産の現在高

平成30年9月30日現在において、広域連合が所有する財産は、次のとおりです。

【物 品】

区 分	数 量	摘 要
物 品	4	広域連合システム処理結果検証用機器1式、広域連合システムデータベースサーバ関連機器1式、旧財務会計システム1式、新財務会計システム1式

(取得価格1件100万円以上の物品)

【基 金】

名 称	金 額 (円)	摘 要
財政調整基金	243,725,151	決算剰余金等を積み立て、不測の支出に備えるための基金
後期高齢者医療給付準備基金	10,696,417,935	徴収した保険料のうち、その年度に余ったものを積み立て、次年度以降の給付に充てるための基金

3 一時借入金及び地方債の借入状況

(1) 一時借入金

一時借入金とは、一時的な現金の不足を補うための短期借入金です。

平成30年4月1日から9月30日までの間の借入れはありませんでした。

(2) 地方債（広域連合債）

地方債とは、その償還が借入年度以降にわたる長期の借入金で、多額の事業費の財源を確保し、費用負担の世代間格差を是正するためのものです。

平成30年9月30日現在において、借入れはありません。

4 住民負担の状況

被保険者に納めていただいた保険料は、医療給付等に要する費用に充てられる「保険料等負担金」として、各市町から広域連合に納付されています。

この他、各市町からは、広域連合の運営に要する費用に充てられる「事務費負担金」、及び医療給付に要する費用に一定の割合で充てられる「療養給付費負担金」が広域連合に納付されています。

平成30年4月1日から9月30日における各市町の納付額は、次のとおりです。

(単位：千円)

区分	保険料等負担金	事務費負担金	療養給付費負担金	合計
広島市	4,745,650	187,748	5,192,658	10,126,056
呉市	1,297,504	47,986	1,728,324	3,073,814
竹原市	185,775	8,156	227,688	421,619
三原市	575,656	21,348	742,044	1,339,048
尾道市	887,079	30,742	1,050,342	1,968,163
福山市	2,036,464	81,556	2,332,350	4,450,370
府中市	266,960	10,818	278,484	556,262
三次市	329,774	13,656	459,780	803,210
庄原市	262,258	11,416	380,880	654,554
大竹市	170,756	7,818	209,076	387,650
東広島市	760,236	30,694	824,544	1,615,474
廿日市市	618,618	22,304	635,964	1,276,886
安芸高田市	194,854	8,934	231,144	434,932
江田島市	190,950	8,084	259,008	458,042
府中町	260,133	10,518	243,900	514,551
海田町	133,777	6,890	124,848	265,515
熊野町	161,524	6,956	143,670	312,150
坂町	76,726	4,756	83,772	165,254
安芸太田町	49,004	4,242	88,476	141,722
北広島町	115,782	6,666	159,756	282,204
大崎上島町	67,407	4,468	92,634	164,509
世羅町	114,276	6,334	130,866	251,476
神石高原町	71,901	4,988	98,496	175,385
合計	13,573,064	547,078	15,718,704	29,838,846

※保険料等負担金には、平成29年度の納付額(623,847千円)を含んでいます。

主要な予算科目の内容

1 一般会計

(歳 入)

区 分	説 明
分担金及び負担金	広域連合を構成する23市町からの事務費分担金
国庫支出金	「意見を聞く場」の設置等に要する経費に充てられる特別調整交付金
財産収入	基金の運用預金利子
繰入金	財政調整基金からの繰入れ
繰越金	前年度の決算剰余金の繰越し
諸収入	その他の収入

(歳 出)

区 分	説 明
議会費	広域連合の議員報酬や議会の運営のための経費
総務費	職員の人件費や広域連合の運営に要する経費
民生費	後期高齢者医療特別会計の事務費等の経費に充てる繰出金
公債費	一時的な現金不足に対処するため、借り入れる資金に対する支払利子
予備費	不測の支出に備えるための経費

2 後期高齢者医療特別会計

(歳 入)

区 分	説 明
市町支出金	被保険者から徴収した保険料や、被保険者が受けた医療給付の1/12相当の市町の公費負担
国庫支出金	被保険者が受けた医療給付の3/12相当の公費負担や、広域連合間の財政調整を目的とした調整交付金等
県支出金	被保険者が受けた医療給付の1/12相当の公費負担等
支払基金交付金	現役世代からの後期高齢者支援金
特別高額医療費 共同事業交付金	著しく高額な医療費の発生による影響を緩和するための交付金
財産収入	基金の運用預金利子
繰入金	一般会計、給付準備基金からの繰入金
繰越金	前年度の決算剰余金の繰越し
県財政安定化基金 借入金	後期高齢者医療の財政安定化を目的に県が設置する基金からの借入金
諸収入	その他の収入

(歳 出)

区 分	説 明
総務費	後期高齢者医療制度の事務執行に伴う経費
保険給付費	療養給付費、高額療養費、葬祭費等の保険給付のための経費
特別高額医療費 共同事業拠出金	全国の広域連合が負担し、特別高額医療費共同事業交付金の財源となる拠出金
保健事業費	各市町で行う被保険者の健康診査等の保健事業に対する補助金
基金積立金	給付準備基金への積立金
公債費	一時的な現金不足に対処するため、借り入れる資金に対する支払利子
諸支出金	国庫負担金、県負担金、市町負担金の返還等に要する経費
予備費	不測の支出に備えるための経費

平成29年度広域連合の決算の状況

1 平成29年度の事業

平成29年度、広域連合では平成28年度に引き続き、被保険者に安定した医療給付を実施していくための各種の事業を行い、制度の円滑かつ効率的な運営に努めました。

各会計の主な支出は次のとおりです。

●平成29年度一般会計の主な事業

主な経費としては、後期高齢者医療特別会計の事務費に充てるための事務費繰出金（725,213千円）、派遣職員の給料等負担金（240,506千円）等となっています。

●平成29年度後期高齢者医療特別会計の主な事業

主な経費としては、被保険者の医療機関等での受診に対する療養給付費を中心とした保険給付費（388,281,189千円）、市町が行う健康診査事業、歯科健康診査事業、長寿・健康増進事業や低栄養防止・重症化予防等推進事業に対する補助（338,552千円）、電算処理システムの安定稼動と適正運用のための広域連合電算処理システム運用管理事業（213,247千円）、レセプト点検や医療費通知、後発医薬品差額通知、療養費支給申請書内容点検等の医療費適正化対策事業（165,441千円）等となっています。

2 平成29年度一般会計の決算状況

歳入決算額	10億980万9,533円
歳出決算額	10億529万5,572円
歳入歳出差引額	451万3,961円

(1) 歳入の状況

平成29年度一般会計の財源構成は、構成市町からの負担金が全体の大部分を占めています。

前年度と比較すると、合計で89千円(0.01%)の増となっておりますが、これは主に、運営審議会の開催に伴う国庫支出金(調整交付金)が96千円(92.3%)増額となったことによるものです。

(歳入)

(単位:千円)

区分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 収入済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
分担金及び負担金	1,009,438	1,009,438	100.0%	100.0%	1,009,438	0	0.0%
国庫支出金	1	200	20,000.0%	0.0%	104	96	92.3%
財産収入	58	58	100.0%	0.0%	64	△6	△9.4%
繰入金	112,000	0	0.0%	0.0%	0	0	-
繰越金	53	52	98.1%	0.0%	0	52	皆増
諸収入	70	62	88.6%	0.0%	115	△53	△46.1%
合計	1,121,620	1,009,810	90.0%	100.0%	1,009,721	89	0.01%

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

(2) 歳出の状況

平成29年度の歳出の状況を行政目的別に見ると、特別会計事務費繰出金等の民生費が72.1%を占め、次いで広域連合事務局の運営経費である総務費が全体の27.8%となっています。

前年度と比較すると、派遣職員給与等負担金等の総務費12,032千円(△4.1%)の減を中心に、合計で4,373千円(0.4%)の減となりました。

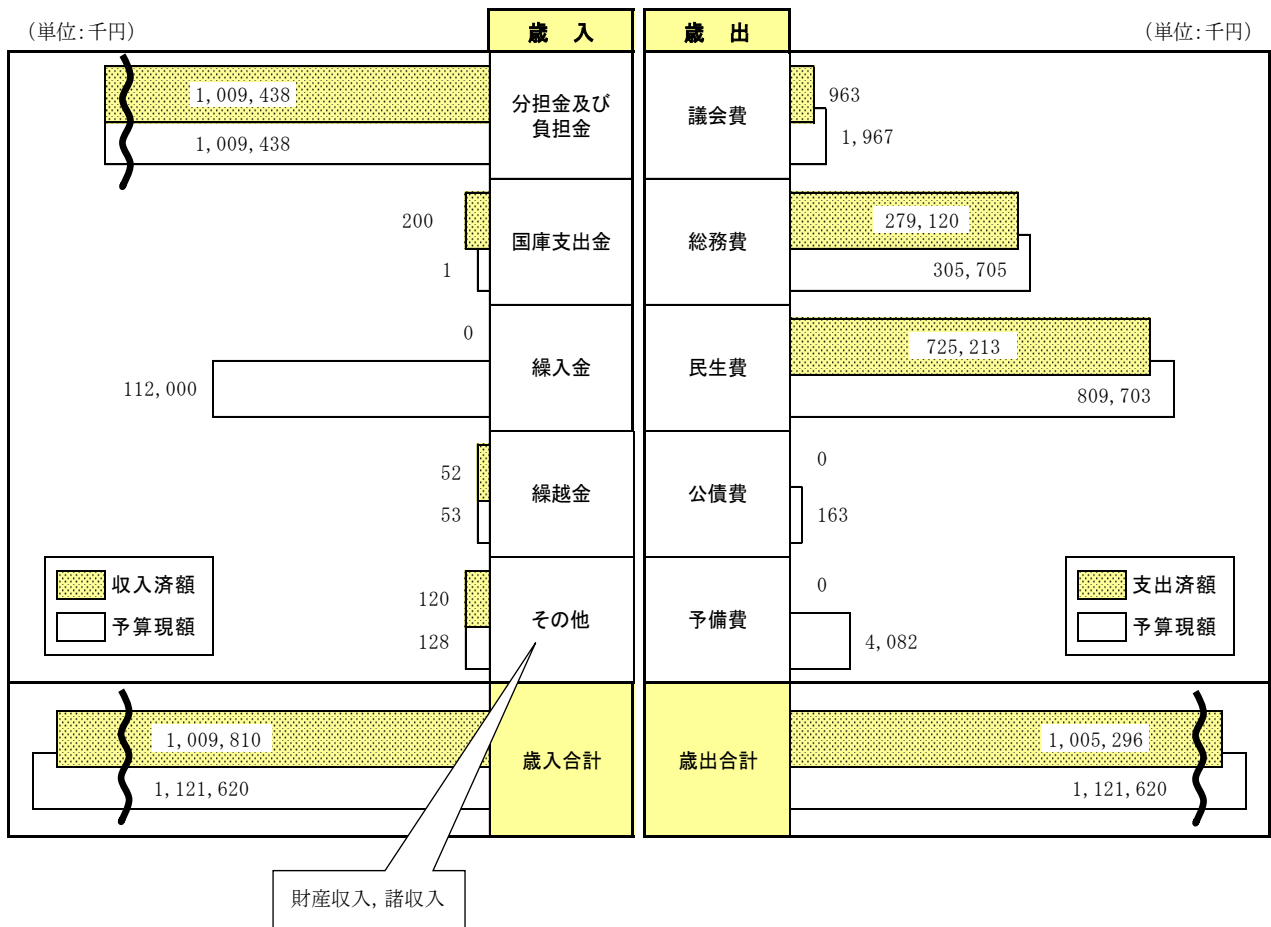
(歳出)

(単位:千円)

区分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 支出済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
議会費	1,967	963	49.0%	0.1%	1,008	△45	△4.5%
総務費	305,705	279,120	91.3%	27.8%	291,152	△12,032	△4.1%
民生費	809,703	725,213	89.6%	72.1%	717,509	7,704	1.1%
公債費	163	0	0.0%	0.0%	0	0	—
予備費	4,082	0	0.0%	0.0%	0	0	—
合計	1,121,620	1,005,296	89.6%	100.0%	1,009,669	△4,373	△0.4%

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

グラフ「平成29年度一般会計歳入歳出決算の状況」



(注)上のグラフには、視覚的にわかりやすくしているため、数値と棒グラフの長さの比が合致しない箇所があります。

3 平成29年度後期高齢者医療特別会計の決算状況

歳入決算額	4,005億4,389万3,178円
歳出決算額	3,977億8,002万7,463円
歳入歳出差引額	27億6,386万5,715円

この差引額は、平成29年度の剰余金として平成30年度に繰り越し、国庫補助金等の返還金の財源に充てます。

(1) 歳入の状況

平成29年度後期高齢者医療特別会計の財源構成は、現役世代からの支援金である支払基金交付金が全体の40.0%を占め、次いで国庫支出金が33.5%、市町支出金が16.1%、県支出金が8.2%となっています。

(歳入)

(単位:千円)

区分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 収入済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
市町支出金	66,667,496	64,588,947	96.9%	16.1%	63,276,880	1,312,067	2.1%
市町保険料等負担金※	(35,211,085)	(34,440,791)	(97.8%)	(8.6%)	(33,105,810)	(1,334,981)	(0.3%)
国庫支出金	133,376,530	134,243,607	100.7%	33.5%	133,718,057	525,550	0.4%
県支出金	32,827,040	32,911,477	100.3%	8.2%	31,937,086	974,391	3.1%
支払基金交付金	162,504,995	160,032,437	98.5%	40.0%	155,950,298	4,082,139	2.6%
特別高額医療費 共同事業交付金	65,999	75,460	114.3%	0.0%	75,469	△9	△0.0%
財産収入	2,335	2,335	100.0%	0.0%	2,621	△286	△10.9%
繰入金	5,074,973	725,213	14.3%	0.2%	717,509	7,704	1.1%
繰越金	7,434,453	7,434,453	100.0%	1.9%	3,882,830	3,551,623	91.5%
県財政安定化 基金借入金	1	0	0.0%	0.0%	0	0	—
諸収入	560,267	529,964	94.6%	0.1%	502,723	27,241	5.4%
合計	408,514,089	400,543,893	98.0%	100.0%	390,063,473	10,480,420	2.7%

※市町保険料等負担金:市町支出金のうち保険料等についての再掲

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

(2) 歳出の状況

平成29年度の歳出の状況を行政目的別に見ると、被保険者の医療機関等での受診に対する療養給付費を中心とした保険給付費が全体の97.3%と歳出総額のほとんどを占め、次いで平成28年度交付分の国庫支出金返還金を中心とした諸支出金が1.8%となっています。

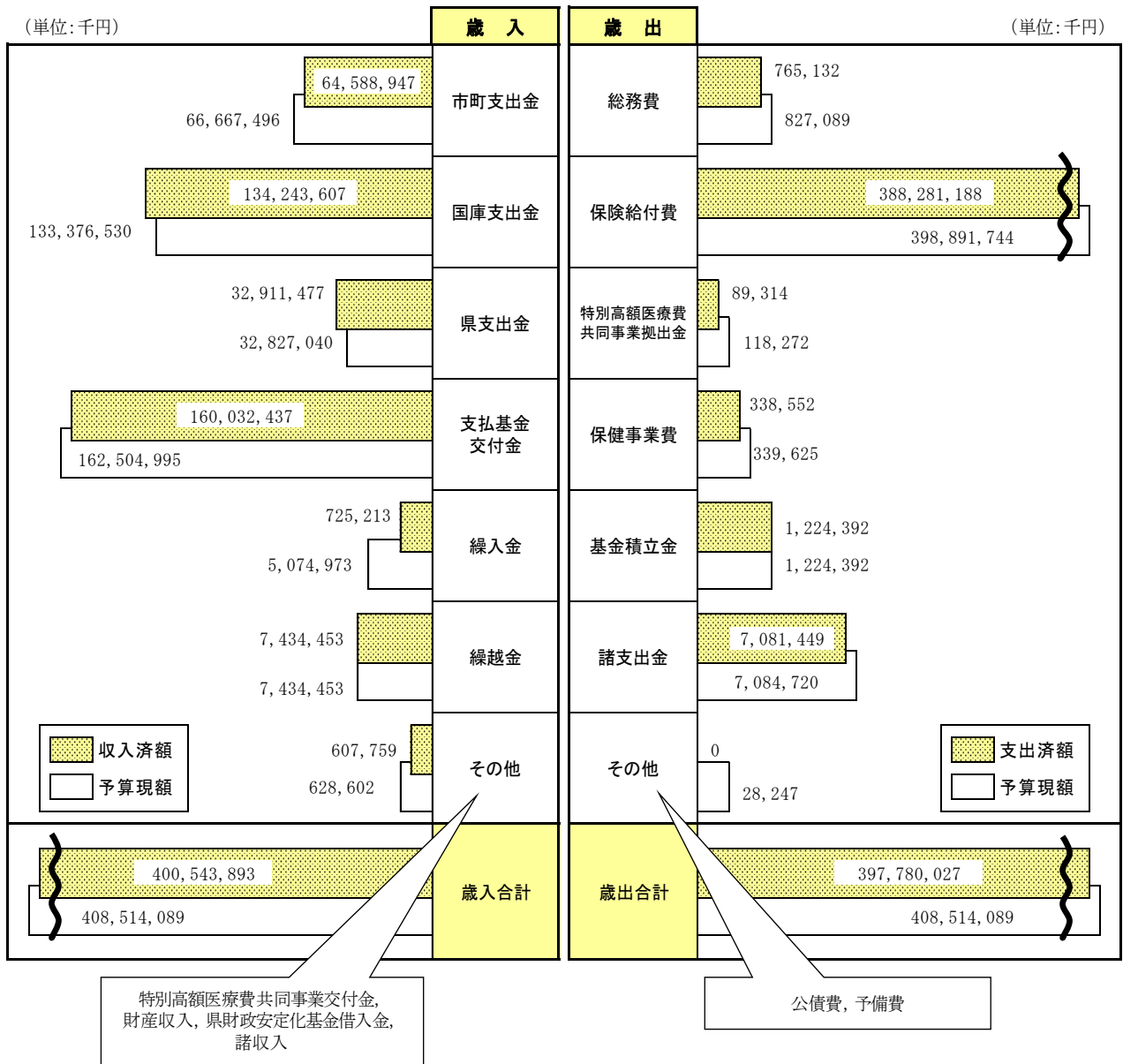
(歳出)

(単位:千円)

区分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 支出済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
総務費	827,089	765,132	92.5%	0.2%	727,686	37,446	5.1%
保険給付費	398,891,744	388,281,188	97.3%	97.6%	375,885,080	12,396,108	3.3%
特別高額医療費 共同事業拠出金	118,272	89,314	75.5%	0.0%	91,529	△2,215	△2.4%
保健事業費	339,625	338,552	99.7%	0.1%	301,720	36,832	12.2%
基金積立金	1,224,392	1,224,392	100.0%	0.3%	2,621	1,221,771	46,614.7%
公債費	3,247	0	0.0%	0.0%	0	0	—
諸支出金	7,084,720	7,081,449	100.0%	1.8%	5,620,384	1,461,065	26.0%
予備費	25,000	0	0.0%	0.0%	0	0	—
合計	408,514,089	397,780,027	97.4%	100.0%	382,629,020	15,151,007	4.0%

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

グラフ「平成29年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の状況」



(注) 上のグラフには、視覚的にわかりやすくしているため、数値と棒グラフの長さの比が合致しない箇所があります。